

自分が本気で変わろうとすれば幸せになれる。



「歩くパワースポット」、「幸せの伝道師」と呼ばれ、日本各地のセミナーなどで多くの人たちに元氣と勇気を与えている手塚さん。本来の仕事は整体師です。20年前から整体師として活躍し、現在は北海道の「ひだまり整体院」の院長であり、東京でも患者さんを診ています。

「これまでどうして私だけが不幸になるの？という生活ばかり送っていました。自分を変えることが出来たのは3年半前だったんです」

手塚さんがここに至るまでには多くの苦しみと挫折がありました。

小・中学時代様々ないじめに遭い、家では性的虐待を受けていた子どものころ、自分が安心していられる場所はなかったといえます。

「大人になっても、自分はここにいていいのだろうかという不安感がずっとありました。自分のことが嫌いで、人にどう見られているかばかり気になっていました。私という人間を認めてくれる人がいると、嬉しいより違和感がありました。疑心暗鬼ですね」

負けず嫌いになり、人にはよく見られたいために頑張りすぎるぐらい頑張り、精神的にいつも疲れていたと語ります。

一度目の結婚で4人の子ども授かりましたが、

の役に立ちたいと、大人になったら医者になりたいと考えていた手塚さん、人々が元気になる姿を見ることができるのは自分への何よりのご褒美だと思っているのです。

「私が一番言いたいのは、『人は苦しむために生まれてきたのではない』ということ。成長するために必要な苦しみや経験は免れないものですが、一方で本来経験しなくてもいい苦しみや原因を作っているということに気づいてほしいです。私のようにどん底を経験した者がこんなに楽に楽しく生きていくことを多くの人に伝えていきたいですね」

手塚さんの本来の仕事である整体を紹介しましょう。効果の出る治療法はないかと探していた手塚さんが7年前に出合った整体法「からだ回復整体」です。「身体快復整体」学院の先生の小笠原芳則先生が横浜で「おがさわら治療院」を営んでいるのを知り、「おがさわら治療院」で働きながら学びました。1日に20人から30人を診ることが出来たので、成績は一番で卒業できたとか。

「ごしごし揉まれることが好きな人には物足りないと思いますが、『からだ回復整体』は身体を揺らすことで筋肉の緊張を和らげます。何されているかわからないまま終わってしまうという人もいますが、終わると体がすごく軽くなっていきます。早い人は一回の施術で膝や腰の痛みがなくなるので杖を忘れて帰ったり、目が悪い方が眼鏡を忘れて帰ってしまうこともありました。どこへ行っても治らない痛みや『ストレスでしよう』と言われている人でも数回で治ってしまいます」

手塚 媛厘子

〈プロフィール〉1970年東京都生まれ。北海道在住。BMSトレーナー・ひだまり整体院院長。25歳で英国式フロンロジの資格を取り、自宅で開業。以来、様々な資格を取得し、人の身体に関する仕事に携わり続ける。おがさわら治療院で約3年従事し、リセット整体を習得。施術総数は15000人以上。

離婚で子どもたちのすべてを夫に引きわたさざるを得ませんでした。孤独感が手塚さんをさいなみました。その頃からスピリチュアルや宗教、心理学などに興味を持つようになっていったといいます。

数年後2回目の結婚をして、ラーメン店を営む夫とともに北海道に渡った手塚さん。ラーメン店を手伝いながら整体師もするという忙しい毎日でした。ところが、1年もしないうちに事業は失敗。夫は離婚をし、東京に戻ってしまったのです。

ほとんど知る人もいない北海道に一人残された手塚さん。どん底の状態に落ち込んだときに「ここで自分が変わらなければならぬ」と気が付いたのでそうです。

「一度目の離婚後にさまざまな精神的な学びをしてきたのが役立ちました。学んできたことを本気で実行すれば自分の人生は変わるかもしれない。本当の意味の『自立』をしないと、この先もずっと自分が嫌いで、自分で得た幸せを自分で壊してしまう癖が治らない。これを続けていたら私は一生幸せになれないと気づいたんです」

手塚さんは自分から外に出始めました。異業種交流会、ランチ会など色々な人に会えるところに



今は北海道が主で、東京には毎月1週間程度サロンや個人宅で施術しています。

「印象に残っている方は50代前半で、生命力が無くなっていました。原因はペットロス症候群です。お母さんに愛されなかったという不安感を持ったままなので、結婚生活でもご主人と上手くいかず、娘さんも片づけられない症候群になりました。そういう寂しさをベットでごまかしていたのです。整体しながらお話をしていくうちに、その方自身が自分の本音に気が付くようになり、『ご主人とこういう風に話してみたらどうですか？』とか『お母さまとこういう話をしましょうか』とか提案をしたら今は別人のようですよ」

体の歪みとねじれは心の状態を表している。その癖があるのではないかと。本当に生き方を変えるには、心も体も両方を改善することが必要だと確信しているのです。

北海道と東京を往復する忙しい毎日でも少しの疲れも見せない手塚さんはストレス社会の現代においてますます活躍の場が広がっていくでしょう。

いま輝く
起業家に
エールを！



出かけました。この3年半で1万人以上の方と名刺交換をしたそうです。それまで患者さん以外はほとんど知り会わなかった手塚さんが、半年後には経営者や弁護士、税理士などそれまで会う機会などなかった人たちのお付き合いも増えていったそうです。

「自分が本気で変わろうと思えば変わるんだというのに気付きました。毎日が面白くなってきました。仕事の種類もかわりましたね。施術の現場はもちろんですが、セミナーの講師や学校の専属カウンセラーなど、以前は考えられないような仕事が増えました。人生や生き方を変えるには心も身体も改善する必要がありますから、私の場合心の問題だけではなく、普段の身体の使い方もアトバイスします」

自分が嫌いで人前で話すことなど考えられなかった手塚さんが多くの人たちの心と身体を治す側になったのです。人に求めてもらいたい、人